



でっかいキャンパスに海の生物をいきいきと描きました
 〳枕崎小1年生が巨大壁画を制作

8月4・5日のさつま黒潮きばらん海を盛り上げようと、今年も、枕崎小学校の1年生とその保護者たちが、枕崎漁港旧防波堤に海をデザインした絵を描きました。

大壁画は、子どもたちが描いた下絵を元に、南浜館の関好明館長がデザインしたもので、梅雨明け前の雨に邪魔されながらも3日間かけて作成しました。カラフルな魚やタコ、クラゲなどが元気に泳ぐ、いきいきとした壁画に仕上がりました。



熱戦を制し、塩屋Aチームに栄冠！

～第52回市少年野球大会

市少年野球大会が7月28・29日、市営球場などで開催され、19チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

今年は、対戦方式をリンクトーナメント方式としたため、どのチームも最低2試合を戦うことができました。

炎天下の中、珍プレー・好プレーが飛び出すなど、子どもたちの一生懸命な姿に観客席からも大きな声援が送られました。

成績は次のとおり。

【優勝】塩屋Aチーム 【準優勝】山手町チーム

【3位】大堀Aチーム、金山・田布川チーム

地元の産業をいきいきと表現

～平成19年度緑茶図画コンクール

枕崎市茶業協会では、同会が30周年を迎えたことを記念して、枕崎の子どもたちに地元の重要な産業のひとつである「お茶」を見つめてもらおうと、緑茶図画コンクールを開催しました。

■審査結果

【最優秀賞】・【金賞】下のとおり。

【銀賞】下木原美月(枕崎小6年)、谷上瑞季(枕崎小6年)、立石彩菜(枕崎小6年)、上之園怜奈(枕崎小5年)、茅野楓(枕崎小2年)、山口歩夢(桜山小1年)

ほか銅賞9名、入選29名



★最優秀賞「茶摘」
 枕崎小6年
 依積田 聖大



★金賞「お茶を飲む」
 桜山小1年
 下村 颯雅



★金賞「大切なお仕事」
 桜山小4年
 森 裕星



★金賞「茶畑」
 枕崎小6年
 福元 麻里奈



大海原での体験が子どもたちをたくましく

第18回かつお釣り体験アドベンチャー

第18回かつお釣り体験アドベンチャーが7月26・27日の2日間にわたって行われ、市内4中学校から選考された10名が、事前研修を経て参加しました。

この事業は、伝統的漁法である「カツオ一本釣り」の体験を通して、心身ともにたくましい生徒を育てようと、毎年実施されています。

一日目、実習船「拓言」に乗り込み、枕崎港を出た当初は、波も穏やかで子どもたちも元氣。しかし、時

間が経つにつれ、一人また一人と船酔いに苦しみ始めました。11時を過ぎる頃、口永良部の沿岸に鳥山を発見。船尾から疑似餌を流しながら進んでいくと、一つ一つくすぐり伸びる。引き揚げるのと、シビが上がり、一斉に釣り始めました。約1時間、悪戦苦闘しながらも夢中で釣り続け、約80kgの釣果を得ました。

夕方6時、宿泊先の中島に到着。夕飯では全員で作ったカシ、サラタのほか取り立てのカツオとシビの刺身が並びました。子どもたちは、自分たちで釣り上げた絶品の刺身を何皿も平らげていました。

二日目は、魚群に遭遇できませんでした。岩田船長の配慮で、船の操縦を体験することができました。

枕崎漁港に到着してから、の帰港では、出口航大君(枕崎中1年)が、「普通の生活ではできない多くの体験ができた。これからの生活に役立てたい」と話しました。どの生徒の顔も真っ黒に焼け、充実感と達成感に満ちており、一回り成長した姿を見せてくれました。

地震による津波を想定し海難救助訓練

～沿岸海難救助訓練

平成19年度沿岸海難救助訓練が7月21日、枕崎漁港東側岸壁で実施され、指宿海上保安署や枕崎救難所、枕崎市医師会、消防など約150名が参加しました。これは6月に開所した枕崎救難所の、沿岸海難発生時における救助活動の円滑化を図るため行われたものです。

訓練は、枕崎沖近海を震源とする地震に伴い津波が発生し、瀬渡船が転覆したと想定。『巡視船せんだい』から、けがの度合いをみながら搬送していく『トリアージ訓練』や漂流者捜索・救助訓練など、迅速かつ正確に行われていきました。



動けなくなっていたウミガメを救助

～ウミガメ保護監視員

ウミガメ保護監視員の白澤誠さんと白澤澄明さんが、6月26日午前7時ごろ、東白沢の長浜海岸で保護監視活動中に、岩場で動けなくなっている赤ウミガメを発見しました。大きさは、体長85㎝・幅65㎝で、満潮時に上陸産卵場所を探した後、海に帰ろうとした時に潮が引いた岩場で動けなくなったと思われます。当日は、大雨で雷も鳴る中、監視員の二人と市職員合計4名で推定体重80%のウミガメを抱えあげて海まで運びました。

昨年の枕崎市のウミガメ上陸頭数は、ここ数年では最低の6頭でしたが、今年は、6月26日現在すでに22頭が上陸しています。